



あたたかいこころ

令和4年 5月25日 No.2

学校教育目標： 強く明るい生徒 進んで考え実行する生徒 協力する生徒

保護者・地域の皆様・教職員が一丸となって、生徒の幸せな時間づくりを応援します！



先輩の姿から学べること

5月28日は南犬飼中学校大運動会です。

先週から少しずつ練習が始まりました。18日にはLong昼休みを活用して、3年生から後輩へソーラン節の伝達がありました。コロナ禍になり、運動会の種目等も削減されてきました。今の3年生は、1年生のときに運動会を経験していません。それでも、コロナ禍の中でできることを懸命に考えてきました。運動会ができる幸せを感じながら取り組んでいます。ソーラン節の指導では、計画を立て、当日は試行錯誤しながら懸命に後輩に伝えようとする姿が見られました。

2年生は2年目の運動会です。メドレーリレーや学年種目の練習に笑顔で取り組んでいます。担任の先生やクラスのリーダーを中心に、クラス一丸で練習する姿が素晴らしいです。

学校の伝統は引き継がれていきます。「先輩の姿を見て、もっと一生懸命やろう。来年、再来年は自分たちが後輩を引っ張っていこう。」と感じ、来年も同じように熱量のある運動会が繰り広げられます。当日の熱い運動会、そして笑顔の先にあるもの、それを手中におさめることを期待しています。



※ 運動会後にクラスや友人で集まっての打ち上げは禁止です。最後まで素晴らしい運動会に!!



～あたたかい報告～

南犬飼中学校のHPIにも掲載されています。地域の方から以下のような連絡がありました。高齢の女性が、自転車を押して横断歩道を渡ろうとして転倒し、買い物をした品物が散乱してしまいました。先を歩いていた男子中学生がこの様子に気付くと、自分の自転車を放置したまま、横断歩道へ戻り、素早く品物を拾い集め、高齢者を助けていました。横断歩道の信号は青の点滅から赤に変わろうとしていたため急いでいたのだと思います。私は、信号待ちの車内で何もできずに、ただただ目の前の中学生の親切な行為を見ているだけでした。こんなに素晴らしい中学生がいることに感動して連絡しました。

中学生は、地域で育てられ、地域で生きていきます。そして地域の皆様も、中学生をよく見守ってくれています。そのような現場で、すぐに動くことができたこと。あたたかい心をもった生徒を誇りに思います。